

派遣留学報告書（12月分）

金沢工業大学 経営情報工学科

村中 可依

12月1日から冬学期がスタートしました。今回は2科目の Academic のクラス（Global Business, Management Development）について報告します。

Global Business

国際ビジネスのクラスでは、国際政治と経済、国際ビジネスにおける法環境、貿易財務を中心とする国際経済比較などや今世界の国々がどのような経営を行い、発展しているかなどを学んでいます。前回のクラスではSONYがどのようにアメリカ市場に進出し、どのような活動をして成功させたかについてのビデオを観ました。このクラスは火曜日の午後6時から10時までの4時間授業でクラスには30人ぐらいの学生がいます。

Management Development

このクラスではマネジメント原理、戦略的マネジメントの技術、企業のトップやマネージャーになるための知識と手法、また、ヒト、モノ、カネの管理手法について勉強しています。KITで似たようなことを勉強したものの教科書はもちろん全て英語で書かれているため、読んで理解するのに苦労しています。先日10点満点の小テストが行われ、20ページ近くのテスト範囲を読むのに4日間程かかってしまいましたが、私の隣の席に座るアメリカ人の友人には1日それも数時間程度で読み終えたと言われ、テスト結果も友人は9点、私は6点でした。このクラスでも Global Business のクラスでも言える事ですが、初めはある程度アメリカ人と日常会話ができれば授業もついていけるだろうと安易な考えを持っていましたが、いくら英会話ができてそれだけでは意味がない事を身を持って知ることができました。両方のクラスでは毎回と言っていいほど先生からトピックがだされ、4~5人のグループに分かれて学生同士での討議が行われます。教科書でもそうですが、毎回ビジネス英語が飛び交っており、初めて見たり聞いたりする単語ばかりで辞書を片手に皆についていくのにやっとという感じです。よって教科書の内容を前もって理解しておかないと授業内容や討議内容を理解するのはさらに難しくなります。また、皆の前でプレゼンテーションや英語でのレポートの課題が出されたりと Business のコースは完璧な英語力が要求されるという先生の言葉の意味をようやく理解することができました。今後の課題としていち早くビジネス英単語を身につけ、Reading・Writing 能力を向上させることが必要であると思います。

最後にアメリカの授業形態で気付いたことですが、どのクラスも少人数教育を重視しているような気がします。同じ教科でも他の曜日に授業が受講できるよう時間を分けているせいかもしれませんが、もし日本のように生徒数が多い場合でも4~5人のグループに分かれて討論が行われるので自分で考える能力を育てることが可能ですし、常に自分の考えを持って発表する能力を身につけることができると思います。アメリカ人はこのような教育を受けているせいか、グループ内で討論した内容や意見などをクラスの皆の前で発表するときも堂々としています。

また、日本人であれば皆の前で発表となると大抵はジャンケンで負けた人がとなりますが、アメリカ人は”私が発表するよ”と自ら買って出る学生がほとんどです。また、先生も授業の日程が遅れても学生が一番興味を持っていることから教えようとしていますし、学生も先生の問いかけには真剣に答えます。金沢工業大学もぜひこのような授業形態に取り組むべきであると思います。

2004・1・1